

学級活動「朝ごはんを決まるその日の生活？」の記録

- 1 学校名，参加者
 - ・横手市立栄小学校 4年生
 - ・4年生保護者

- 2 活動のねらい
 - ・1日の生活における朝ご飯の大切さを知る。
 - ・朝ご飯をおいしく食べることができる工夫を考え、実践しようとする意欲を持つ。
 - ・保護者と一緒に学習することで、朝食についての意識を一層高める。

- 3 学校外の人にTV会議システム利用を広げるねらい
 - ・子どもに対しての問いかけだけでなく、保護者に対して問いかけたり、専門的な知識を提示したりすることにより、子どもが自分の生活を見直す上で家庭からの協力や助言が期待できる。

- 4 実際

活動の流れ	教師や（学校外の人）の支援
1．朝ご飯について、親子で意見交換をする。	【教師の支援】 ・アンケート結果の発表と、結果について、子どもと保護者から意見を求める。
2．朝ご飯をおいしく食べるための工夫について考える。	【教師の支援】 ・朝ご飯を食べるとどんな良いことがあるか問いかける。 【センター指導主事の支援】 ・朝ご飯を食べたときと食べないときの違いについての資料を提示する。 ・どのような工夫をすれば朝ご飯を美味しく食べられるか問いかける。
3．自分の生活を改善しようとする意欲を持つ。	【センター指導主事の支援】 ・保護者に対して、朝食についての現状や、朝食をとらないことについての デメリット、理想的なメニューについての話をする。

5 実践を通しての提言

保護者からはおおむね好評で、さっそく毎日の食事に役立てようという意見が多かった。また、自分の生活を見直し、早起きや朝の運動などを実践している子どもも多く、自分の生活を見直すという意味では効果的な実践だったと思う。

しかし保護者がこのシステムに慣れておらず、保護者対指導主事の場面でなかなか質問できずにいたようだ。その時担任は子どものまとめの手伝いをしておりカメラから離れていた。もしその時保護者と指導主事の仲立ちを務めることができたなら（また別の誰かが仲立ちできたなら）、保護者にもより一層このシステムの良さが伝わり、効果的な学習活動になったであろうと思われる。